

# 日本語の「話せる能力」を可視化するOPIC-J



## 日本語コミュニケーション力測定テスト「OPIC-J」サービスの様子



### ■日本語コミュニケーション能力を総合的に測定するOPIC-J

OPIC-Jは、ACTFLの公認評価者と受験者が1対1の面談形式で行うインタビューテストOPI (Oral Proficiency Interview) を、受験しやすいiBT(Internet Based Test)形式で実施できるようにしたテストです。評価は、日本語の語彙力や文法の知識だけでなく、実際の業務や生活の中でどれだけ効果的かつ適切に日本語を駆使できるかを測定するコミュニケーション能力評価となっています。最近では大学の授業での活用や企業での昇格・昇給要件のレベル判定等にも活用されています。

## OPIC-Jを開発しているACTFLによる学校履修目安とUS政府が定める職務基準の関係とFSIレポートによる学習所要目安時間

レベル名称	CEFR <sup>※4</sup>	数値適用値	言語能力	米国での職務ガイド <sup>※2</sup>	修得対象	FSI <sup>※3</sup> 到達ガイド
Advanced Low (AL)	C2: Superior C1: Advanced High	9	自分の考えや経験を流暢に表現できる。討論や交渉、説得など実際の業務で駆使することができる。	・Customer Service Agent, Social Worker, Claims Processor, K-12 Language Teacher, Police Officer, Maintenance Administrator, Billing Clerk, Legal Secretary, Legal Receptionist	・Undergraduate language majors with year-long study abroad experience	1320h
		B2				
Intermediate High (IH)		8	文法的に大きな間違いが無く言語を駆使し、基本的なビジネスや会議でコミュニケーションができる。	・Auto Inspector, Aviation Personnel, Missionary, Tour guide	・Undergraduate language majors without year-long study abroad experience	
Intermediate Mid (IM)	B1	7	小さな文法的ミスはあるものの、長いセンテンスを駆使し、基本的なコミュニケーションができる。 ※IM3(上)、IM2(中)、IM1(下)に細分化	・Cashier, Sales clerk (highly predictable contexts)	・L2 learners after 6-8 year sequences of study ・4-6 semester college sequence	
		6				
Intermediate Low (IL)	A2	4	日常的な話題はセンテンスで話すことができる。会話に参加し、興味のある話題は自信を持って話すことができる。	・Receptionist, Housekeeping Staff	・L2 learners after 4 year high school sequence or 2 semester college sequence	
Novice High (NH)	A1	3	簡単な単語や句を駆使してコミュニケーションができる。	平成26年度文部科学省英語力調査(高校3年生)平均値は1.94レベル <a href="http://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/detail/_icsFiles/afilefile/2015/07/03/1358071_01.pdf">http://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/detail/_icsFiles/afilefile/2015/07/03/1358071_01.pdf</a>	・L2 learners after 2 years of high school language study	
Novice Mid (NM)		2	既に暗記している単語やセンテンスで話すことができる。			
Novice Low (NL)		1	限定的ではあるが、単語を羅列して話すことができる。			

※1 American Council on the Teaching of Foreign Languages.  
 ※2 ALを越える職務は、[http://global8.or.jp/US\\_WorkLevel.pdf](http://global8.or.jp/US_WorkLevel.pdf)をご参照下さい。  
 ※3 Foreign Service Institute  
 ※4 CEFR検証 [https://en.wikipedia.org/wiki/Common\\_European\\_Framework\\_of\\_Reference\\_for\\_Languages](https://en.wikipedia.org/wiki/Common_European_Framework_of_Reference_for_Languages)  
 (掲載元データ出展 <http://global8.or.jp/OPIC%20CEFR%20Study%20Final%20Report%20pdf.pdf>)  
 ※5 日本では全般的受験者の分布関係から、現在はOPIサービスにて実施中です。

■日本での受験案内 [http://global8.or.jp/personal\\_register.pdf](http://global8.or.jp/personal_register.pdf)

OPIC サービス紹介ホームページ  
<http://global8.or.jp/opic.html>



### ■自分でテーマの選択やレベルの設定ができるOPic-J

OPic-Jには「background survey」と「self assessment」という2つの機能があります。

「background survey」は、いわば事前アンケートのようなものです。職業や趣味、関心分野などを選択すると、それに沿った出題がされます。

「self assessment」は、レベルを選択できる機能です。初級レベルから上級レベルまで、自分の現状に合ったレベルを選択して受験することができます。もしもレベルが合わないと感じた場合は、途中で一度だけ変更することもできます。

#### オリエンテーション

**1 Background Survey**

職業、関心分野、レジャー、趣味など自分に関連する選択肢を選ぶ

- 個人に関するアンケートの結果から、関連する問題を出題
- テストに対する安心感、発話量を確保

**2 Self Assessment**

スピーキング能力に関する説明と回答サンプルから、自分のレベルを自己診断する

- 自己診断の結果から、問題のレベルを決定
- レベルによって問題の難易度が異なる

受験者のレベル、関心分野に基づいて12~15問が出題

ある場所、人、物事に関する出題

仕事や周辺活動に関する出題

過去の経験、仕事などに関する出題

質問を作成する出題

#### テスト

✓問題聴取 2回

✓問題毎の回答時間制限はない

途中、難易度の再調整

### ■ACE\*1型単位認証ガイドを参照としたスキル目安の自己設定

#### ACE Credit Recommendations

The American Council on Education's College Credit Recommendation Service (ACE CREDIT) has evaluated and recommended college credits for the ACTFL OPI, OPic-J, and WPT for the following languages:

Akan-Twi, Afrikaans, Albanian, Amharic, Arabic, Armenian, Azerbaijani, Bengali, Bulgarian, Cambodian (Khmer), Cantonese, Czech, Dari, Dutch, **English**, French, German, Gujarati, Haitian Creole, Hebrew, Hindi, Hmong, Hungarian, Indonesian, Italian, **Japanese**, Korean, Lao, Mandarin, Modern Greek, Norwegian, Pashto, Persian (Farsi), Polish, Portuguese, Punjabi, Romanian, Russian, SerboCroatian, Somali, Spanish, Swahili, Swedish, Tagalog, Tamil, Thai, Turkish, Ukrainian, Urdu, Vietnamese, and Yoruba.

#### Summary of Credit Recommendations for Official ACTFL Ratings\*2

Official ACTFL Rating	Official OPI/OPic	Official WPT
Novice High/Intermediate Low	3 LD*	3 LD
Intermediate Mid	6 LD	6 LD
Intermediate High/Advanced Low	6 LD + 1 UD**	6 LD + 1 UD
Advanced Mid	6 LD + 3 UD	6 LD + 3 UD
Advanced High/Superior	6 LD + 8 UD	6 LD + 8 UD

\*LD - Lower Division Credit \*\*UD - Upper Division Credit

\*1 <http://www.acenet.edu/Pages/default.aspx>  
 \*2 <http://global8.or.jp/ACE-ACTFL-Testing-Brochure.pdf>

### ■OPic-J受験生のフィードバック



Aさん

テストは面白かったです。いろいろなトピックについて話せました。前より日本語をもっと勉強したくなりました。



Bさん

日本語を話す力を高めるのに、すごく役に立つと思う。将来、チャンスがあれば、もう一回受験したいです。



Cさん

インタビューするときの話は日常練習の書く文章と比べて大きな差があると思う。「書く」は考えながら書くことができ、書き間違ったらもう一度書き直しもできるが、「話す」は二度の機会がない。緊張感もすごく大きいと思う。



Dさん

I realized that I need to work on listening and recognizing vocabulary in order to understand more and respond appropriately.

#### ■世良時子先生（成蹊大学 全学教育講師）からコメントを頂きました

「学生にとって、話す力を測定するというのは非常に良い刺激になっているようです。また、話す能力を示す証明書が手に入ることも大きな魅力です。公的な証明になるといだけでなく、そこに記されたレベル記述や上達のコツなども学習の動機づけを高めるきっかけになっています。」



# GLOBAL<sup>8</sup>